
◎議案第 2 号 工事請負契約の締結について

○議長（山本浩平君） 日程第 5、議案第 2 号 工事請負契約の締結についてを議題に供します。
提案の説明を求めます。

熊倉会計課長。

○会計課長・会計管理者（熊倉博幸君） 議案説明に入る前にちょっと修正、加筆をお願いしたいと思います。議案書の 4、契約の相手方のところの構成員、白電社の住所でございます。白老郡白老町高砂 1 丁目となっておりますが、高砂町 1 丁目に加筆をお願いしたいと思います。

それでは議案説明に入らせていただきます。

議案第 2 号 工事請負契約の締結について。

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第 2 条の規定に基づき次のとおり工事請負契約を締結するものとする。

平成 26 年 7 月 23 日提出。白老町長。

1、契約の目的、平成 26 年度施行白老下水終末処理場改築工事（電気設備）。

2、契約の方法、制限つき一般競争入札。

3、契約の金額、1 億 2,420 万円。

4、契約の相手方、東芝・白電社特定建設工事共同企業体、代表者、札幌市西区琴似 4 条 2 丁目 1 番 2 号、株式会社東芝北海道支社、支社長井下田一郎。構成員、白老郡白老町高砂町 1 丁目 1 番 55 号、株式会社白電社、代表取締役谷島和治。

5、契約保証金、白老町契約に関する規則第 35 条第 2 号の規定により免除。

次のページをお開きください。議案説明でございます。

工事場所、白老郡白老町高砂町 4 丁目。

完成期限、平成 28 年 3 月 11 日。

工事概要でございます。白老下水終末処理場は昭和 49 年度に供用開始され、現在は平成 24 年度に策定された白老下水終末処理場長寿命化計画に基づき改築の優先度が高い設備から随時更新を進めております。本工事は昭和 48 年度から平成 15 年度に建設・機能増設された監視制御装置及び昭和 48 年度から平成 4 年度に建設・機能増設された重力式汚泥濃縮設備の更新工事であり、全体承認設計工事として 2 カ年で電気設備の改築を行うものであります。

次に主要設備であります。まず監視制御装置であります。（1）A 系水処理設備コントロールセンター機能増設一式。（2）A 系水処理設備補助継電盤機能増設一式。（3）A 系水処理設備計装盤機能増設一式。（4）新管理棟コントローラー式。（5）新 B 系水処理棟コントローラー式。

（6）新脱水機棟コントローラー式。（7）LCD 監視装置一式。（8）無停電電源装置（監視室）一式。（9）無停電電源装置（脱水機棟）一式。（10）A 系沈砂池・ポンプ設備コントロールセンター機能増設一式。（11）A 系沈砂池ポンプ設備補助継電盤機能増設一式。（12）A 系沈砂池・ポンプ設備計装盤機能増設一式。

次に重力式汚泥濃縮設備であります。（1）濃縮消化設備コントロールセンター式。（2）濃縮

消化設備補助継電気盤一式。(3)濃縮汚泥ポンプ現場操作盤1面。(4)濃縮汚泥搔寄機1面。
(5)濃縮消化設備計装盤機能増設一式。(6)濃縮汚泥引抜流量計1組であります。

次のページに図面を添付しております。黒く塗られているところが今回の工事箇所であります。

続きまして入札の経過でございます。去る5月19日に白老町告示第31号による制限つき一般競争入札の公告を行い、5月19日から5月29日まで入札参加の申し込みの受け付けをいたしました。その結果東芝・白電社特定建設工事共同企業体、株式会社新興電気、株式会社中村電気、株式会社明電舎北海道支店の1つの特定建設工事共同企業体、3の単独事業によりまして7月10日に入札を行ったところであります。

落札率でございますが予定価格2億9,387万8,800円に対し落札額が1億2,420万円でございますので落札率は42.2%となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長(山本浩平君) ただ今提案の説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方はどうぞ。

1番、氏家裕治議員。

○1番(氏家裕治君) 工事金額については全然問題はないと思うのですが、落札率なのですが落札率の42%というのはちょっと異例ではないのかと。予定金額の42%、この予定金額と落札額の差というのはい体どういった見解を持っているのか、その辺のお話を聞かせていただきたいと思っております。

○議長(山本浩平君) 田中上下水道課長。

○上下水道課長(田中春光君) 工事の入札、発注した側の現課の立場としてお話させていただきますが、基本的に工事の予定価格については私どもとしましては北海道で示される積算基準そういったものがありまして、そこら辺の部分にのっとって適切に設計、積算を行ったものであるとどのように認識しております。

したがって結果はこのような形で表れたわけでございますが、その点についての原因については私どもとしてはなぜにと明確に示せるものは持ち合わせておりません。ただし1点だけ判断されるのは、今回の工事は議案説明の中でも記載のとおり処理場の監視制御装置の部分の電気工事ということでございまして、いふなれば処理場の中枢の部分の機能増強工事でございます。部品のなものも当然工作物として購入とかをするわけなのですが、その体制がコンピュータ関係のプログラミング関係が中心になってくるかとそのようにしております。入札者としてはその部分の価格評定をどのようにとったかという部分で結果このような形で表れたのではないかとこんなふうに思っております。概略として以上でございます。

○議長(山本浩平君) 1番、氏家裕治議員。

○1番(氏家裕治君) 1番、氏家です。その辺のこちらの予定の工事価格については今課長がお話されたとおりでございます。こういった落札率で工事がされるとすれば今後こういった経緯をもって北海道積算単価に影響してくる、また今後の工事の予定価格の積算にも影響してくるということは考えられるのでしょうか。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） ちょっと言葉が足りなかったかもしれないですけども、物としての部分は積算単価としては何らどこで単価を拾い出ししようと変わる部分ではないかと思っておりますし、さらにいえば民間の調査機関の価格調査会という部分があるのですが、そこに対して適正価格であるかどうかという部分の調査も実施しておりますので価格的には問題なかったものと考えております。

先ほど申し上げたとおり技術力の投入部分、形、物としては表れない部分です。プログラミングですから図の部分でどうプログラミングをしてつくり出していくかという部分、ここの部分の価格設定が大手の業者となりますから自社の社員の中で調整するということであろうと思っております、その部分が入札結果として表れたのではないかというふうには考えております。

○議長（山本浩平君） ほか、ございませんか。

13 番、前田博之議員。

○13 番（前田博之君） 担当課長のほうに 1 点だけ。この落札額 42.2%で約半分事業費が落ちましたけど、多分その不用額に対して補正予算が出てくるとは思いますけど現時点での財源内訳はどのようになりますか。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） おっしゃったとおり不用額の部分については後ほど減額の補正の対象となってこようかと思っております。

財源については補助事業でございますのでかかる経費の基本的に 55%が補助金といいますか交付金扱いです。残り 45%のうちの 90%が起債扱い。そのさらに残りの 10%部分これが単独費になりますので、それらをそれぞれの比率案分の中での減額対象としては最終的な精算の段階で出てくる格好になろうと思えます。

○議長（山本浩平君） 13 番、前田博之議員。

○13 番（前田博之君） おおむねの起債額の減額部分と一般財源を減額する部分は押さえていますか。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 今時点ではまだその部分については押さえておりません。いわば補助金といいますか交付金事業なのですが、この事業のためだけに使う交付金ではなくて下水の関連事業全体の中で使い回しも可能な事業となっておりますので、ほかの部分でことし交付の予定額が圧縮された部分もありますから逆にそちらの部分に転用するというのもこれから考えていきたいと思っております。総体的にはその中で全体の下水の事業の中での整理ということで考えていきたいと思っております。

○議長（山本浩平君） 13 番、前田博之議員。

○13 番（前田博之君） それらの運用も含めて補正予算で上がってくるということですね。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 最終的にはそのような形の中で上げさせていただきます。恐ら

くタイミングとしては最終的に3月の補正になろうかと思えます。

○議長（山本浩平君） 7番、西田祐子議員。

○7番（西田祐子君） 今の落札率のことで1つだけ確認の意味で聞かせていただきたいのですが、42.2%の落札率ということで今説明の中でプログラミングが自社で設定することによってというそういうことで低価格になったのではないかという説明があったのですが、ほかの企業さんは何%くらいの落札率だったのかしら。もしすごく差があるのだとしたら入札した企業の自助努力によりこれだけ落札率が下がったというふうに、企業努力としてそういうところをきちんと認めてもいいというふうに理解してもよろしいですか。そこだけ1点確認させてください。

○議長（山本浩平君） 熊倉会計課長。

○会計課長・会計管理者（熊倉博幸君） 入札の状況ですけれども結果として第2位で入札されたのが今の1億2,000万円プラス3,000万円です。あと2社が予定価格を上回った金額で入札をしてきております。以上です。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 入札の状況については会計課長のほうから申し上げたとおりなのですが、そのような形からいきますと落札した業者につきましては企業努力の中での結果がこのような形で表れたということで問題ないかと思っております。

○議長（山本浩平君） ほか、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第2号 工事請負契約の締結について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔挙手全員〕

○議長（山本浩平君） 全員賛成。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。